

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行: 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 473

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センターあさやけ	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



六月上旬にみんながもつとも楽しみにしている旅行がありました。今回のメインはスカイツリーや東京ドームです。

作業所の旅行

あさやけ風の作業所

あさやけ鷹の台作業所に入って二か月が経ちました。こんなにも一瞬かと思うくらい二か月があつという間に過ぎてい

自分らしくいられる場所なのかなと考えたりしました。まだ二か月しか鷹の台にいませんが、毎日笑いが絶えま

ました。社会人一年目。正直働き始める前は、一割の楽しみ

せん。メンバーのMさんは、お昼ご飯を食べている私の横に

と九割の不安を抱えながら、こんな私を鷹の台作業所の皆さ

来て、「モノマネできるよ」と言つて、アイズニーキャラクター

んは受け入れてくれるだろうか心配でした。どんな社会人

から有名アーティストまで様々なモノマネを披露してくれま

としてのスタートが切れるかという楽しみな気持ちもありま

した。うまく特徴をとらえているそのモノマネが面白く私は

したが、やはりこの先どうなるか不安の方が大きかったよう

すごく好きで、ご飯を噴き出してしまいうまくない笑つて

に感じます。しかし、二か月前

あさやけの職員になって二ヶ月

しまいます。また、Aさんは、私がコーヒーを飲めないことを

の自分に言いたいことは、そんな心配は無用だということ

あさやけ鷹の台作業所 矢崎 杏菜

知つていながら自動販売機で買ってきてくれました。「飲め

す。皆さんが私を鷹の台の一人

あさやけ鷹の台作業所 矢崎 杏菜

ません」と言つても「飲んでください」の一点張りでした。優

として受け入れてくれてるか

あさやけ鷹の台作業所 矢崎 杏菜

ださい」の一点張りでした。優

どうかはわかりませんが、日に

あさやけ鷹の台作業所 矢崎 杏菜

ださい」の一点張りでした。優

日に「矢崎さん」と呼んでくれる回数が増えていくことが

しさなのか、克服させようとしているのかはわかりませんが、

とても嬉しくて、もつと頑張らなさと励みになります。そ

おもわず笑つてしまいました。毎日一緒にいることで、様々

して、毎日みんなでぎやかに、まじめに仕事をし、笑つて、

新しい発見があり、変化を見つけれ、それを共有できる

時には怒つて。メンバーは年齢幅も大きく、何十年も作業所

この仕事に就いていること、職員として携わることができ

を利用してはいる方の中にはいますが、そんなことは関係なし

ことを誇りに思いながら、日々成長していけるよう、経験を

に団結して仕事に取り組んでいる姿を見て、ひとりひとりが

積んでいきたいと思います。

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



私とあさやけ

森 信之さん

(あさやけ第二作業所)



私が最初にあさやけ第二

に通所するようになったのは、四半世紀以上昔のことです。あさやけ第二の最初の印象は、みなさんとても個性的でユニークでそしてとても親切でした。でもともとあまのじやくな私は、そんな皆さんのユニークさと優しさになんとなく抵抗があり、なかなか仲間の輪の中に入つていけずいつも孤立しているような感じでした。でも自分でもこのままではいけないと思い、少しずつ会話をしよう心がけ、なんとなく気が合うような人が、三人くらいできるようになりました。「なんだ、それじゃ今とあんまりかわらないじゃないか」という声も聞こえてきそうですが、これも昔より大分よくなったほうなのです。そしてあの頃からも月日が矢のように経つて

今に至っています。残念なのは、昔からのなじみのある仲間がひとりひとり去つてしまつた事です。入院されてしまつたり、亡くなられてしまわれがとても悲しいです。作業所の職員さん、調理の職員さん、そしてメンバーさんたちには、とても感謝しています。そもそも心の病で枯れていくばかりの私の人生をこんなに豊かなものにしてくれて。

第二に入所してから二十六年、これからも自分なりにせーいっばいやっていきたいです。もう少し自分自身に課題をもつてやっていきたいです。

私も昔より大分よくなったほうなのです。そしてあの頃からも月日が矢のように経つて

🐦 年を重ねても元気に働きたい

彼女はあさやけ作業所の最高齢の方です。現在週に3回あさやけ作業所に通所しています。平日の残り2日は別の施設へ通っています。そこでは、午前中は中央公園へ散歩に行き、昼食を食べ入浴をして他の利用者の方とゲームをしたり歌を歌ったりして過ごすそうです。

もともと松原さんがこちらの施設を利用するようになったのは、家庭での入浴が難しくなってきたことが理由でした。ですが、手作りのおやつが出ることや、好きな歌を多くの人と歌えること、昼食外出を通して出かけられる回数が増えたことで、松原さん自身もその施設を利用することを肯定的に捉えています。利用を検討するときにその施設を見学したときは、仕事をする日が減ると心配していた松原さんも、様々な良い点や利用することで分かった点などから、その施設を利用することを楽しんでいるようです。

80歳を超えても元気に作業所に来て仕事をする松原さん。とても丁寧に仕事をしてくださるので、職員も頼りにしているメンバーの一人です。



🐦 新しい生活に挑戦

入所4年目の野神さん。4月から東村山にあるグループホームかえでに入居しました。年齢が若い入居者7名のとてもフレッシュなホームです。慣れるまでに混乱することが多いのではと周りには心配していましたが、心配をよそにスムーズにスタートしました。

始まってすぐは送迎車が変わったことで少し戸惑ったり、ゴールデンウィーク明け、朝の送迎車の中では穏やかだったのが降りた途端大泣きをする日が何日か続きましたが、そういったことも今はなく、日中穏やかに過ごしています。

ホームでは帰るとまずは入浴。その後は、大好きな音楽を聴きながらソファでくつろいだり自分の部屋で休んだり。最近は、他の利用者にも興味を示しニコニコして近づいていく姿も見られるようです。家とは違う場をどう受け入れているのか、本人の心の中を覗いてみないとわかりませんが、日中とても穏やかに過ごしているのを見ると、きっと新しい生活も自分の生活の場として少しずつ組み込んでいくのかもしれない。まだまだ、始まったばかりの生活。ゆっくり、のんびり、やっぴこうね！友花さん。



個性ゆたかな仲間が協力して働いています ～あさやけ作業所うぐいす班の紹介～



🐦 下請け作業

うぐいす班では、下請けの仕事として箸などの商品を袋に入れて値札のシールを貼っています。ひとつの仕事の工程を細分化し、関わる事が出来るメンバーを増やすことでうぐいす班にとっての中心の仕事になっています。こちらもビーズ製品の仕事と同様にメンバーが「自分が出る」という自信を持って取り組むことが出来ています。

大きめの机に最大4人のメンバーが座り職員を介して仕事を行っています。メンバーの中には他のメンバーを手伝う人もおりメンバー同士も協力して仕事を行っています。このメンバー同士が協力しあう雰囲気、うぐいす班の良い部分でありその雰囲気を大切にしながら仕事を続けていけるよう支援しています。



🐦 ビーズ製品づくり

2017年度からうぐいす班の自主製品としてビーズ製品の作成を開始しました。1年以上自主製品として続けてきたことで、製品の種類も増えてきました。試行錯誤を繰り返して、さまざまなデザインを考えていくことでお客様に楽しんでもらえるようにしています。

ビーズ製品はなかまちテラスなどで販売をしていたり、法人のバザーや市役所販売などでも販売をしていたり、物品販売でも製品を出しています。

この仕事に関わっているメンバーの中にはビーズ製品の作成で才能を発揮し、3mmのビーズを60cmも通すことのできる人もいます。製氷皿を用いてビーズをセットすることで順番に通す事が出来るメンバーには、プレスレットやストラップを作成してもらっています。また、自分の手から販売することが出来るバザーでは自ら「ビーズを売るんだ」と張り切る人もいます。

このように「メンバーが得意な部分を発揮し、仕事に取り組んでもらう場が増えた」ということがビーズ製品の大きな部分だと考えています。



たくさんの署名をありがとうございました

— 第42次国会請願署名活動の報告 —

去る5月24日、きょうされん第42次国会請願行動が行われ、全国から当事者、家族、職員など約450人の参加者が集まり、各地で集めた署名を携え704人の国会議員を訪問しました。また、昨年度に引き続き厚生労働省と交渉し、6政党と政党懇談会をもちました。

そして今回は、きょうされん東京都多摩中部ブロック代表団の一員として、あさやけ風の作業所の職員1名と所員1名、第二作業所の職員1名と所員1名で参加してきました。

私たちが担当した参議院議員9名の議員事務所を訪ね、今回の署名の取り組みと請願内容を伝え、その内容を法律づくりに活かす為に、請願署名の紹介議員になってもらえるよう依頼して回りました。

前回(41次)、議員の方と直接懇談する機会が持て、今回も期待していましたが、

残念ながら秘書の方の対応のみとなってしまいました。

しかしながら、今回の署名活動においては、昨年12月より述べ8回に渡って行った駅頭署名や廃品回収などで、広く市民の方々に現行の障害者福祉制度の矛盾点・問題点を訴えかけ、賛同の声をたくさん頂くことが出来ました。

ご協力頂いた皆様にご場を借りてお礼申し上げます。

署名・募金へのご協力ありがとうございました。

署名数：5,949筆

募金額：431,154円

署名推進委員長 岩田輝久



あさやけアートフェスティバル2019にぜひご来場を!

一人一人が、のんびりと自由な時間を、育むなかで~共同ホーム一步の作品の数々~

一步の玄関を開けると、小さなかわいい五つの顔が並ぶ筒井さんのオブジェを始め、幾つかの絵画が出迎えてくれる。

そのまま進むと、一階の共同スペースの壁は、柳原さんの、ちょっとユーモラスな作品達が幅を効かせている。洗面所には、鏡の代わりに真黒な版画が盛り上がった様な顔が、椎名さんや智登世さんの歯磨きを見守っている。一瞬、ギョッとするのも、おもしろい。河久保さんの油絵の自画像も圧巻である。柳原さんの居室は、彼のご自慢の作品で埋め尽くされていて、時折の作品入れ替えは、職員達のリフレッシュの要素が満載の時間でもある。続いて二階に進むと、高橋さん、鈴木さん他、センター利用者の作品が、色鮮やかな光を放ちフロアを明るくしている。描くことが大好きで、ホームでの大半の時間も絵筆を握っている筒井作品が、フロアの奥を、ぐっと芸術的スペースへと誘う。山本さんや大西さんも、自分達の音楽を楽しみながら、この空間を共有している。三階には、加藤さんが、昨年からの作業所の絵画クラブに参加。「海鮮井と空」等、ユニークで可愛い作品を自室に飾り、訪問者との会話を楽しんでいる。入浴や食事のゆったりとした時間が、明日への活動の原動力であるはずで、ある程度の制約はあるものの、自分のペースで生活する中で、培う力が、作品にも生かされると信じている。



作業所のクラブ活動で絵画クラブに所属して絵を描いています。あさやけアートフェスティバルが毎年開催されるようになってから、5月以降に描く絵は、アートフェスティバルに向けての絵を描いています。風の作業所では、アートフェスティバルには、一人一点しか出すことができないので、今年から、共同ホーム一步から数点出すことにしました。今の一步は、僕の部屋を含めて一步の全体に、僕の作品が飾ってあります。

柳原昭三

あさやけアートフェスティバル2019
7.17 (水) - 21 (日) 入場無料

ルネこだいら 10:00~18:00 (最終日は15:00まで)
 なかまちテラス内 CAZE CAFÉ なかまち 9:00~17:00 18 (木) 休館

芸術 それは生活だ
 一つの太い線に 力がみなぎる
 やわらかさには やさしさが
 明るい色には 喜びが
 暗い色には しみも
 怒りに満ちたら・・・
 画面に広がる 心の目
 心にふれることがあると
 おのずと浮かぶ 詩や唄が
 画面に広がる 心のひだ
 そのとき光る 心の灯り
 芸術 それは 生活だ

社会福祉法人とさわ会
 理事長 加藤寛二

イベント予定

アートトーク

19日 (金)
 会場にて13:30~
 作者が自身の作品についての
 思いを語ります。



▲去年の様子

ワークショップ

ゆらゆら人形を作ろう！
 自由な発想で何か作ってみよう！
 いろんな素材や材料を用意します。
 会期中ずっとやっています。



ショップ

手作りの美味しいお菓子や可愛い雑貨を販売します。

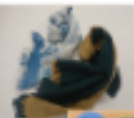


スポンジ3色セット
 数量限定、オシャレなトリオ

手作りにこだわっています
 大好評あさやけのパン



新染め、手織りストール
 楽しい雑貨がたくさん！



主催 第8回チャレンジドカップ実行委員会
 特定非営利活動法人 N G B C
 第8回チャレンジドカップ2017
 菓子部門 審査員特別賞受賞



あさやけピアルス
 こたびは国産野菜使用

URL <https://asayake-artfes.wixsite.com/asayake> TEL あさやけ風の会事務局 042-346-2167 主催 あさやけアートフェスティバル2019実行委員会 後援 小平市 小平市社会福祉協議会

参加団体 あさやけ作楽所 あさやけ第二作業所 サングリーン あさやけ園の作業所 あさやけ風の会作業所 共同ホーム 地域生活支援センター あさやけあてま子工房 第一ともはなこ (NPO) ともしネット ひまわりはだけ 共同ホームサンライズ

アクセス

ルネこだいら (東京都小平市美園町 1-8-5)
 西武新宿線「小平駅」下車 南口徒歩5分
 なかまちテラス (東京都小平市仲町 145)
 西武新宿線「小平駅」下車 南口徒歩15分
 西武多摩湖線「青梅街道駅」下車 徒歩15分
 ※駐車場がないため公共交通機関をご利用ください。



映画「星に語りて~Starry-Sky~」(115分) 上映

東日本大震災で被災した障害がある人たちの群像劇
 2019/7/19 (Fri) ①13:15 ~ ②16:15 ~ ③18:30 ~
 松本監督トークショー 15:30 ~ 16:00
 ルネこだいらレセプションホール 入れ替え制 1回定員120名
 全席自由500円(予約申込可) 申込 starry_sky@asayake.or.jp
 TEL080-9153-3800 FAX 042-346-6609(あさやけ風の作業所 小林)

廃品回収のお知らせ

5月の廃品回収の回収量は9,280kgでした。内訳は新聞7,020kg、雑誌・ダンボール2,260kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて154,100円でした。

次回は7月20日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。